

1 題材 「Attractions of Historic Monuments of Ancient Kyoto」

2 指導観

- コロナ禍前に比べ、国内のオンライン会議ツールの利用者は急増しており、直接会うことなくオンラインで様々なことを伝達する機会が多くなった。これは海外とのコミュニケーションも同様であり、今後、英語を使って自分の思いや情報を画面越しで正確に伝達する力が求められる。

本題材では、セブ島在住の海外の人に見学旅行で学んだ古都京都の文化財についてオンラインで紹介する活動を通して、日本の伝統的な建築物について相手のバックグラウンドを意識しながら魅力的に伝えることができることをねらいとしている。学習内容としては、受け身の用法、使用方法、魅力を伝える表現、パラフレーズや比喩の有用性、リモートでのアイコンタクトや発話方法、相手の知識を確認する質問の有用性、などがある。本題材は、京都の文化財の歴史や魅力を調べることにより、自国の伝統文化について知るとともに、それに対しての魅力を自分の考えをもとに英語で表現することができる。また、ALT以外の海外の人にオンラインで京都の文化財について伝えることにより、相手のことを予想しながら日本の伝統文化を魅力的に伝える方法を工夫することができる。以上のことから、本題材を学習することは、相手のバックグラウンドを考えながら自国の伝統文化についてオンラインでより伝える力を育成する上で意義深いと考える。

- 本学級の生徒は、これまでにALTにおすすめの海外旅行プランを提案したり、ALTの友人の教職員に本校の校則やルールについてスライドを用いて説明したりする活動を行っている。事前アンケートの結果によると、「古都京都の文化財は魅力あるものであるか」と問うと○%の生徒が、「古都京都の文化財の魅力を海外に発信する必要はあるか」と問うと○%が肯定的な回答であった。このことは生徒が京都の文化財という日本の伝統文化に魅力を感じていたり、それは海外にも誇れるものであるという認識をもっていたりすることを表している。しかし、古都京都の文化財の魅力を海外の人に発信する上で大切なことは何か」と問うと「京都の文化財の歴史的背景も説明すること」というような文化財の歴史について説明することが大切であるという回答がほとんどであり、海外の人が京都についてどのくらいの知識をもっているかについて言及した回答はなかった。また、「古都京都の文化財の魅力は何か」と問うと、「見た目が美しい」というような文化財の見た目についての回答がほとんどであった。これらのことから、古都京都の文化財の魅力を海外の人に紹介する活動を行う上で、見た目以外の文化財の魅力に気付かせたり、紹介する相手の京都に対する知識を踏まえた紹介内容にさせたりする指導が必要不可欠である。
- 本題材の指導にあたっては、オンライン会議ツールを使って、相手の事を考えながら京都の文化財についてより魅力的に紹介する方法を内容面と発話面という視点で工夫しようとする態度を養いたい。そのためにまず、紹介する京都の文化財を決定させる。ここでは、学習課題に対しての個別の目標をたてさせるために、前題材の振り返りのデータを確認させ、前題材でた課題を問う。次に、京都の文化財を紹介するための原稿を作成させる。ここでは、京都の文化財について、より伝わりやすい表現に気付かせるために、苔寺について作成した文を全体に共有し、共有した表現の中で苔寺の美しさがより伝わる表現とその理由を問う。また、スペルや文法以外だけでなく、表現や文章構成についても評価させるために、原稿や評価を全体に共有し、表現や文章構成について述べている評価を取り上げ、その良さを問う。さらに、京都の文化財について紹介させる。ここでは、練習の成果や課題を客観的に気付かせるために、練習前と練習後それぞれの発話の様子を撮影させ、2つの動画を比較する場面を設定し、練習前と練習後の違いを問う。最後に、京都の文化財を紹介する活動を振り返らせる。ここでは、本題材での学習内容や成果を正確に振り返らすために、本題材の学びのデータを確認させ、本題材での学びと成果は何かを問う。

3 目標

- 受け身を用いた文の構造や働きを把握し、建物の概要について建築時期などの内容を整理しながら説明することができる。
- 古都京都やその文化財の魅力を知り、日本の伝統文化に興味をもってもらうために、話す表現を工夫しながら事実や自分の考えを整理して、京都の文化財について伝えることができる。
- 古都京都やその文化財の魅力を知り、日本の伝統文化に興味をもってもらうために、相手の情報量に合わせながら事実や自分の考えを整理して、京都の文化財について伝えようとしている。

4 計 画 (1 0 時 間)

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

次	配時	学習活動・内容	手だて (○) 研究に関する手だて (◎)	評価規準
一	2	<p>学習課題 Please tell people from Cebu Island about Historic Monuments in Kyoto!</p> <p>1 紹介する京都の文化財を決定する。 (1) 紹介する京都の文化財について話し合う。 ・京都の文化財の魅力 (2) 京都の文化財の紹介内容について話し合う。 ・海外から見た京都の魅力</p>	<p>◎ 学習課題に対しての個別の目標をたてさせるために、前題材の振り返りのデータを確認させ、前題材でた課題を問う。 【A3, B6】</p> <p>○ オリジナルの紹介内容を考えさせるために、ALT が京都の魅力を語る動画を提示し、それ以外の魅力は何かを問う。</p>	<p>態：前題材の課題をふまえた目標をたてようとしていたり、古都京都やその文化財の魅力を知ってもらうために、海外の人が知らない魅力を紹介内容にしようとしていたりしている。</p>
二	4	<p>2 京都の文化財を紹介するための原稿を作成する。 (1) 京都の文化財の概要についての文を作成する。 ・受け身の用法, 使用方法 (2) 京都の文化財の魅力についての文を作成する。 ・魅力を伝える表現</p>	<p>○ 建物の概要を説明する時の受け身の使用方法を把握させるために、大阪城の英語版パンフレットを提示する。</p> <p>○ 魅力を伝える表現に気付かせるために、魅力を伝える表現の例文でパターンプラクティスをする場面を設定し、例文の目的・場面・状況を問う。</p>	<p>知：京都の文化財について受け身や助動詞 can を使って用いて、建物の概要や魅力についての文を作成することができる。</p>
		<p>本時</p> <p>(3) 作成した原稿を付加修正する。 ・パラフレーズや比喻の有用性</p>	<p>◎ 京都の文化財について、より伝わりやすい表現に気付かせるために、苔寺について作成した文を全体に共有し、共有した表現の中で苔寺の美しさがより伝わる表現とその理由を問う。 【C2】</p>	<p>思：相手によりわかりやすく京都の文化財について伝えるために、パラフレーズや比喻表現等を使って、まとまりのある</p>
	<p>(4) 作成した原稿をグループで評価する。 ・京都の文化財を紹介する表現方法や文章構成</p>	<p>◎ スpellや文法以外だけでなく、表現や文章構成についても評価させるために、原稿や評価を全体に共有し、表現や文章構成について述べている評価を取り上げ、その良さを問う。 【A3, B6】</p>	<p>文章を作成することができる。</p>	
三	3	<p>3 京都の文化財について紹介する。 (1) 相手を意識して、京都の文化財の紹介を練習する。 ・リモートでのアイコンタクトや発話方法 (2) 京都の文化財について相手に合わせた紹介を練習する。 ・相手の知識を確認する質問の有用性 (3) 京都の文化財を紹介する。 ・海外の人に京都の文化財の魅力を紹介する有用性</p>	<p>◎ 練習の成果や課題を客観的に気付かせるために、練習前と練習後それぞれの発話の様子を撮影させ、2つの動画を比較する場面を設定し、練習前と練習後の違いを問う。 【A3, B6】</p> <p>○ 相手の知識を確認する質問をさせるために、フィリピン人の都道府県訪問率を提示し、今のままの原稿で良いかを問う。</p> <p>○ 京都の文化財の魅力について伝えることができたかを確認させるために、紹介後、相手が紹介を聞いての感想を伝える場を設定する。</p>	<p>態：古都京都やその文化財の魅力を知ってもらうために、相手の情報量に合わせながら事実や自分の考えを整理して、京都の文化財について伝えようとしている。</p> <p>思：古都京都やその文化財の魅力を知ってもらうために、話す表現を工夫しながら事実や自分の考えを整理して、京都の文化財について伝えることができる。</p>
四	1	<p>4 京都の文化財を紹介する活動を振り返る。 ・京都の文化財の魅力を紹介する価値 ・今後の言語活動に向けての本題材の成果と課題</p>	<p>◎ 本題材での学習内容や成果を正確に振り返らすために、本題材の学びのデータを確認させ、本題材での学びと成果は何かを問う。 【A3, B6】</p>	<p>態：本題材の学習やパフォーマンスをふまえた本題材の価値や成果と課題を見出し、次題材の学習につなげようとしている。</p>

5 本 時 令和3年〇月〇日 (〇) 第3校時 計画 第二次の3 2年〇組教室にて

(1) 主 眼

○ 学級で共有した京都の文化財を紹介する良い表現を参考に、自分の原稿を付加修正する活動を通して、京都の文化財をよりわかりやすく相手に伝えるための表現の有用性を把握することができる。

(2) 準 備

①”Thanksgiving Day”を紹介する例文のスライド ②苔寺を示したスライド

③苔に対する海外の考え方の違いを示しているサイト

(3) 過 程

学習活動・内容	準備	手だて (○) と研究に関わる手だて (◎) 評価 (◇)	形態	配時
<p>1 京都の文化財を相手によりわかりやすく伝えるために必要なことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりわかりやすく伝える表現の必要性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Today's Goal Let's review our script!</p> </div>	①	○ わかりやすく伝える表現の必要性に気付かせるために、アメリカの祝日である”Thanksgiving Day “についてそのまま使用した例文と”Thanksgiving Day “の内容をわかりやすく言い換えた例文を提示し、「どちらの例文のほうが相手に内容をわかりやすく伝えることができるか。」、「なぜそう思うのか。」を問う。	一斉	10
<p>2 苔寺の美しさについて説明する文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラフレーズや比喻表現の効果 	② ③	○ 苔についてそのまま説明すると美しさが伝わらないことに気付かせるために、海外の苔に対する考え方の違いを示しているサイトを提示する。	個	8
<p>3 苔寺の美しさについて説明する文について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラフレーズや比喻表現の活用方法 		◎ 京都の文化財について、より伝わりやすい表現に気付かせるために、苔寺について作成した文を全体に画面共有機能を使って共有し、共有した表現の中で苔寺の美しさがより伝わる表現とその理由を問う。 【C2】	一斉 ↓ 個 ↓ 小集団 ↓ 一斉	17
<p>4 京都の文化財について紹介する原稿を付加・修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラフレーズや比喻表現の有用性 		○ よりわかりやすく相手に京都の文化財を伝えるためという点に焦点を当てた原稿の付加修正にさせるために、共有した文の中で良かった表現の共通点を問い、その共通点を参考に原稿を付加修正するよう指示する。その際、よりわかりやすく伝える表現の有用性に気付かせるために「自分の原稿のどの部分をどのように書き換えたか。」と「その理由は何か」を問う。 ◇ パラフレーズや比喻表現を振り返りの視点として自分の原稿を見直すことができたか。 ＜学習プリント分析＞	個 ↓ 一斉 一斉 ↓ 個	15